

## 見える化シート

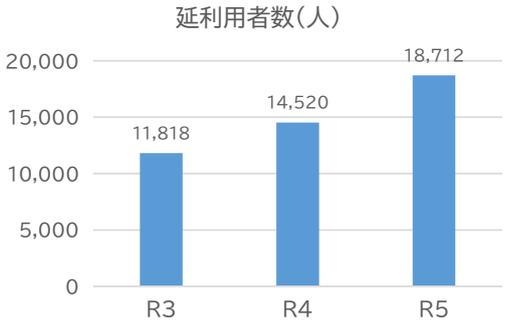
基準日

令和6年3月31日現在

## 基本情報

施設名称	博物館	
所在地	八戸市大字根城字東構35番地1	
所管部署	博物館	
設置の目的	教育、学術及び文化の発展に寄与するための拠点として設置するもの。	

## 管理・運営の概要

土地	土地面積	7,725.00	m <sup>2</sup>	所有状況	市有地					
	用途地域	第一種中高層住居専用地域								
建物	建物名称	博物館								
	建築年月日	昭和57年9月30日								
	延床面積	3,767.49	m <sup>2</sup>	構造	鉄筋コンクリート	階数	地上	2	地下	—
	整備費用	1,501,252	千円	財産区分	行政財産					
	耐震診断	不要		診断結果	—					
運営	開館時間	9:00~17:00								
	休館日	毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始								
	開館日数(日)	R3	245	R4	311	R5	318			
	運営形態	直営								
主な利用者	市民(全市的)		観光客		—					
	延利用者数(人)	R3	11,818	R4	14,520	R5	18,712			
1日当たり利用者数(人)	R3	48	R4	47	R5	59				
利用	利用料金	入館料	一般250円、高校・大学生150円、小・中学生50円 (特別展開催期間は特別料金)			貸館利用料				

※令和5年4月1日から中学生以下無料。市内在住の65歳以上の方、障がい者手帳等をお持ちの方と同伴者1名は半額。  
(利用料金の詳細については施設ホームページに掲載)

駐車場の有無					職員数(人)	
駐車場の有無	有	自動車	23		正職員	会計年度任用職員
利用時間	9:00~17:00	原付・バイク	有			
入出庫時間	9:00~17:00	自転車	有		9	8
バリアフリーの状況					自家発電設備等	
車いす駐車場	出入り口のスロープ	障害者用エレベーター	オストメイト対応トイレ		自家発電設備	再生可能エネルギー設備
○	○	○	—		○	—
災害指定避難						蔵書数(冊)
指定緊急避難場所					指定避難所	
洪水	土砂	地震	大規模な火災	火山		
—	—	—	—	—		

施設運営費の状況		(単位:千円)																	
		令和3年度		令和4年度		令和5年度													
			地元 発注率		地元 発注率		地元 発注率												
支出	人に係る経費	61,957	/	63,492	/	77,461	/												
	企画運営費	14,225	100%	17,488	100%	16,019	100%												
	施設の維持管理費		46,036	100%	49,882	100%	55,793	100%											
		うち、光熱水費	12,752	/	16,814	/	17,682	/											
		うち、委託料	27,289	100%	27,520	100%	31,143	100%											
	合計	122,218	/	130,862	/	149,273	/												
収入 (財源)	使用料	1,561		2,070		2,985													
	その他	2,413		2,940		3,875													
	一般財源	118,244		125,852		142,413													
	合計	122,218		130,862		149,273													
施設運営費の特徴		支出経費の構成割合(令和5年度)																	
<p>1. 人に係る経費 特別展・企画展開催や資料の収集保存など企画運営業務に9人、その他の施設運営や管理に6人が従事しています。</p> <p>2. 企画運営費 特別展、企画展開催にかかる経費及び、集客を図るための新聞への広告掲載費、看板作成費等に一定の経費を要しています。</p> <p>3. 施設の維持管理費 収蔵品や展示品の適切な温湿度管理のため、常時空調設備を稼働させる必要があり、これに伴う電気代を要しています。 また、受付業務、館内の監視業務等に一定の経費を要しています。</p> <p>4. その他 その他収入の主なものは建物貸付収入です。</p>		<table border="1"> <caption>支出経費の構成割合(令和5年度)</caption> <thead> <tr> <th>経費種別</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人に係る経費</td> <td>52%</td> </tr> <tr> <td>維持管理費(委託料)</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>維持管理費(光熱水費)</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>維持管理費(その他)</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>企画運営費</td> <td>11%</td> </tr> </tbody> </table>						経費種別	割合	人に係る経費	52%	維持管理費(委託料)	21%	維持管理費(光熱水費)	12%	維持管理費(その他)	4%	企画運営費	11%
経費種別	割合																		
人に係る経費	52%																		
維持管理費(委託料)	21%																		
維持管理費(光熱水費)	12%																		
維持管理費(その他)	4%																		
企画運営費	11%																		

取組の状況	
設置条例	八戸市博物館条例
運営方針等	先人の優れた文化遺産を保存して後世に引き継ぐとともに、その一部を展示公開し、八戸の風土と歴史を紹介する。
取組の内容	<p><b>1. 施設の特徴</b> 当館では、考古・歴史・民俗・無形資料の常設展示を主体としており、そのほかに特別展や企画展を開催しています。また、教育普及活動として、講演会や博物館クラブなどを実施しています。</p> <p><b>2. 主な事業</b></p> <p>(1) 常設展の開催            考古－縄文時代から中世までの出土品等 575点            歴史－八戸2万石の城下町としての様子等 109点            民俗－八戸の漁業・農業・信仰・芸能等 211点            無形－八戸の民謡・昔話・わらべ歌・方言、市内の各学校の校歌、八戸の観光等 153点</p> <p>(2) 特別展の開催            夏季特別展「業良キ物-日本刀の歴史と八戸の刀工-」 会期:令和5年7月8日(土)～8月27日(日) 入館者数:5,072人            秋季特別展「J-mode 縄文の流儀」 会期:令和5年10月7日(土)～11月26日(日) 入館者数:3,797人            ※併催行事としてギャラリートーク、特別展講演会等を開催</p> <p>(3) 企画展・パネル展の開催            ①企画展「新収蔵資料展」            令和4年度に新たに収蔵した資料を紹介する企画展            会期:令和5年4月29日(土)～5月28日(日) 入館者数:1,837人</p>
	<p>常設展示室</p>

- ②ミニパネル展「八戸の防災－東日本大震災－」  
防災意識の高揚を目的として、毎年、防災月間の9月にあわせて開催  
会期:令和5年9月1日(金)～9月30日(金) 入館者数:1,457人
- ③新春ミニ企画「えと展－たつ－」  
令和6年の干支である「たつ」に関する資料を紹介するミニ企画展  
会期:令和5年12月9日(土)～令和6年1月14日(月) 入館者数:739人
- ④企画展「えんぶり展」「ひな人形展」  
国の重要無形民俗文化財に指定されている代表的な民俗芸能「えんぶり」の歴史や内容について紹介。  
「ひな人形展」では、八戸の商家に伝えられた享保雛、昭和期の古今雛のほか、日本各地の郷土雛・郷土人形を紹介する。  
会期:令和6年2月3日(土)～3月10日(日) 入館者数:2,314人



企画展「えんぶり展」

(4) 教育普及活動の実施

- ①博物館クラブ  
小中学生から一般を対象とした体験学習講座 計10回開催 参加者数 延べ148人
- ②おとなの博物館クラブ  
高校生以上を対象とした本格的な体験講座 計2回開催 参加者 11人
- ③館外フィールドワーク「八戸城下めぐり」  
中心街を歩きながら、八戸藩政時代の城下町であった名残をめぐる。  
計2回開催 参加者数 11人
- ④市民のための歴史講座(博図連携事業)  
共通テーマによる歴史講座。令和5年度のテーマは「八戸は海と共にある」  
計4回開催 参加者数 95人
- ⑤現地公開「漁撈用具と浜小屋」  
国指定重要有形民俗文化財「八戸及び周辺地域の漁撈用具と浜小屋」のうち浜小屋を一般公開を実施。  
計1日開催 参加人数 30人



博物館クラブ



浜小屋一般公開の様子

(5) 資料管理

- ①令和5年度寄贈資料  
考古資料 3,299点 歴史資料 350点 民俗資料 307点 総点数 3,956点
- ②収蔵資料保存修理
  - ・重要文化財保存修理事業「青森県丹後平古墳出土品」195点  
令和5年度 鉄刀2点、鉄鏃10点、玉類10点 計20点
  - ・歴史・民俗資料保存修理  
令和5年度 山車人形(為朝)頭 一式  
「上長苗代村耕地整理地図確定図其の三」「御領内海岸通絵図」「南部領郡村全図」各1枚  
刀(無銘)、脇差「肥前國忠吉」、短刀(無銘)、槍「山城守国重」各1点

(6) 収蔵資料



国指定重要文化財「櫛引遺跡出土品」



県重宝「菊牡丹唐草轡十文字紋時絵」

## 取組の状況

### 3. 維持管理費と財源の見通しについて

○過去3年度における施設運営費の平均（単位：千円）

支出	人に係る経費	67,637
	企画運営費	15,911
	施設の維持管理費	50,570
	うち、光熱水費	15,749
	うち、委託料	28,651
	合計	134,118
収入（財源）	使用料	2,205
	その他	3,076
	一般財源	128,836
	合計	134,118

#### (1) 維持管理費について

##### ① 維持管理の状況について

博物館では、常設展示室に約1,000点、収蔵庫内に約74,000点もの文化財を有しており、文化財にとって最適な温湿度環境を確保するため、常時空調を稼働し、文化財の保存に努めています。今後、空調設備や消防設備などの設備更新を予定しており、維持補修費が増える見込みとなっています。

##### ② 維持管理費削減の取組

照明のこまめな消灯の徹底や、空調を行う場所や時間の制限、電気契約の見直しなどの実施により、これまで光熱水費の削減に努めています。  
また、博物館リニューアル事業の一環として令和7年度に照明のLED化を進め、更なる維持管理費削減に取り組みます。

#### (2) 財源の見通しについて

施設使用料のほか市税や地方交付税などの一般財源を基本に、その他収入として建物貸付収入等を引き続き確保するとともに、新しい財源の確保に努めていきます。